

復興研究会報告

NO.12(平成28年度 第5号)

発行
岩手県立大槌高等学校
復興研究会・O A部
発行日
平成29年2月1日

第12回定点観測

11月26日(土)と27日(日)に第12回定点観測が行われました。この活動は神戸大学近藤研究室の方々と、町方復興CMrの方々のご協力のもと行っている活動です。年に3回行い、1回につき180か所の地点を震災前と同じ場所・角度から撮影し、視覚的に復興の様子を町内外の方々に伝えていけるように活動しています。今回は2部構成で行い、普段の活動のほかに2日目の午後には神戸学生の方々と交流をしました。その参加者の感想を一部紹介します。



町方の観測では変化が沢山みられました。盛り土が大幅に進んでいたり新しい建物が沢山建っていて、とても驚きました。吉里吉里の観測では、初めて行いましたがみんなで協力しスムーズに終わる事ができました。新しい観測場所も増え、大槌について必要な物などじっくり考えるいい機会になり、良かったです。

2年女子

普段はバスの外からの景色を見ている、町の変化に全く気づかないのに定点観測をすると変化がわかりやすく、沢山みられます。定点観測に参加することで、大槌高校生として大槌の事を沢山知ることができました。

2年女子

前回9月の定点観測に参加しなかった分、大槌駅周辺の復興していく変化をみる事ができました。また、1年生の最初の定点観測で撮影した地点を最後になるであろう今回も撮影する事ができよかったと思います。この定点観測という貴重な活動に1年生から3年生までずっと参加できたのはCMrの方々や神戸大の方々のお陰なのだ改めて思いました。

3年女子



「新しい東北」交流会 in 釜石

12月17日(土)に「新しい東北」交流会 in 釜石が行われました。この活動は「コミュニティの形成」をテーマとし、若い世代が就労後も地域に残っていくためにITを通じて地域から世界レベルのサービス作品を発表している企業を紹介し、高校生を中心に新たな働き方のグローバルを学ぶ交流イベントです。その参加者の感想を一部紹介します。



今回の交流会では、株式会社BUTTONの活動を知ることができました。午後は、大槌町の課題をグループで話し合いました。今回の交流会を通していろいろな経験ができました。この経験を生かしこれからの進路を決めたいと思います。

1年男子

今回参加させていただいたイベントでは、午前にトークセッション、午後にワークショップがありました。トークセッションでは「BUTTON INC」というIT企業の活動の様子を見たりお話を聞いたりし、活動する上で何を大切にしているかなどを教えてくださいました。とても充実した時間になりました。

1年女子

今回私は、初めてこのようなイベントに参加し、話を聞いたり、ワークショップをした中でたくさんの考え方があるということを実感しました。私は今まで、一つの課題について、どうしたら解決できるのかを考えていましたが、今回のワークショップで掘り下げていくことが大切だと知りました。今回のワークショップで学ぶことができよかったです。

3年男子

大槌町の問題を考えることができよかったです。またその問題を解決すればどんなメリットがあるかを知ることができました。また、友達と参加してみたいです。

1年男子

